

会報 むすび



第34号

平成22年3月吉日

● 発行所 ●
栃木県青年神職むすび会
広 報 委 員 会

● 発行人 ●
荒 井 和 宏

● 印刷所 ●
伴印刷株式会社



昇級者・退会者慰労会

目次

荒井和宏会長挨拶(十九代会長)	1
天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典	2
家庭祭祀の振興に関する勉強会	3
大麻奉斎街頭活動	4
御田植祭・拔穂祭／祭式研修会	5
神宮神道青年会合同研修会／親睦家族会	6
野球大会中止時研修旅行／昇級者・退会者慰労会	7
平成二十一年度むすび会事業報告	8
平成二十一年度むすび会役員・幹事名	9
新入会員紹介	10
退会者・御結婚・第一子誕生紹介	11
広告掲載(協賛社)	12
編集後記	15
お知らせ	16
お知らせ	17



ご挨拶

栃木県青年神職むすび会

十九代会長 荒井 和宏

昨年三月の臨時総会において、伝統ある当会の第十九代会長という要職を仰せつかることとなり、早くも一年が過ぎました。素より浅学非才の身であり、私には重すぎる役目ではありませんが、神社庁をはじめ緒先輩方のご支援と役員・事務局をはじめとする優秀な会員方に助けられ任期前半の一年間の会務を遂行させて頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年は当会の存在理念である「神社神道の興隆に基づき自己の研鑽と会員相互の親睦を図り、県神社庁の事業に協力すること」を目的として、恒例の諸活動は勿論の事、特に遷宮啓蒙活動や大麻頒布推進活動に力を注ぎ、活動の柱として会員各位には積極的に参加いただき、誠にありがとうございました。

さて、当会は六十名弱の小所帯で活動にも限りがございますが、広報・事業・研修・親睦・遷宮特別・神宮大麻頒布推進の六委員会にての活動が主体になっております。

各委員会においては先輩方の築き上げて来た功績と志を感じ、誇りある名を汚さぬよう会員一丸となって活動を更に発展させ、互いに切磋琢磨し、「若さ」という行動力を生かし、会務に邁進してまいる所存でございます。

また、石原栃木県神社庁長様のご指導を仰ぎ、昨年温めてき

た新たな事業の展開も企画実行致したく存じます。

当会では来る平成二十五年に創立五十周年の節目を迎えます。すでに昨年より田中副会長を中心に五十周年準備委員会を発足させ、各種記念事業の計画立案・財政基盤の確立に励み、少しずつですが形になってきておりますので折に触れご報告させていただきます。

皆様方には倍旧のご指導とご支援を切にお願い申し上げます。昨年の政権交代以来この国の向かう先の危険性に注視せざるを得ません。外国人地方参政権付与や夫婦別姓制度など、この国の本来のわたちが破壊されようとしています。

そしてこの夏には参議院選挙が行なわれます。神道青年全国協議会の活動とも志を一つにし、この国の将来を憂い、時には声を大にして本来のあるべき姿を訴えていかなければなりません。

会員の皆様には神明奉仕は勿論のこと、公私共にお忙しいとは存じますが、斯界の尖兵という青年会の使命と誇りを持って、斯界の興隆、自己研鑽、神道教化、そして直面する時局問題の為に個々の力を結集し、一致団結して諸活動を展開すべく、より一層のご協力ご支援を重ねてお願い申し上げます。

祝

天皇即位二十年をお祝いする国民祭典



奉祝委員会

平成二十一年十一月十二日、「天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典」が皇居前広場及び皇居外苑にて開催されました。当会からは十名の会員が神青協のスタッフとして参加致しました。

当日は風が冷たく、寒さも大変厳しい中ではありましたが全国から多くの人々が会場を訪れ、奉祝行事が盛大に執り行われました。昼の奉祝まつりでは音楽・郷土芸能のパレードのほか全国郷土展が催されました。我々は交通整理や沿道警備の仕事にあたり、その後は会場内で行われた夜の祝賀式典を見ることができました。式典では各方面から祝辞が寄せられました。

提灯の明かりの中、天皇皇后両陛下がお出ましになると、EXILEの奉祝歌が披露され、陛下がお言葉を述べられました。

非常に大規模な祭典ではありましたが、大きな混乱などもなく無事閉幕となりました。このような素晴らしい行事に関われたことは我々にとって非常に貴重な経験となりました。(田邊 雅祥)





◆ 家庭祭祀の振興に関する勉強会 ◆

神宮大麻頒布推進特別委員会

十一月二十六日、家庭祭祀の振興に関する勉強会を開催し、会員十四人が参加しました。

この勉強会は、年末の神宮大麻頒布を控へ、各地で増頒布への取り組みが進められる中、とくに若年層世帯への頒布を推進する事業の一環として企画されたもの。参加者らは、近年積極的に新たな試みを展開している埼玉県神社庁（さいたま市大宮区）を訪ね、担当者などから各種取り組みについて説明を受けました。

勉強会は、神社庁庁舎に隣接する氷川神社社務所で開催され、「神棚相談室」「未来の神棚デザインコンテスト」「御札立て頒布」などの各種事業について、高麗文康氏（日高市・高麗神社宮司）、馬場裕彦氏（さいたま市岩槻区・久伊豆神社宮司）、高橋寛司氏（神社庁学芸員）がそれぞれ紹介。参加者との質疑応答もおこなわれました。

神社や家庭祭祀に興味を持ってもらう第一歩として、工夫を凝らした簡易神棚の頒布や現代の住宅事情に合わせた新たな宮型のあり方を検討しているといふ埼玉県神社庁の取り組みに、参加者からは「若年世帯を対象とした教化活動の展開に向けて新たな可能性を発見できた」などの感想が聞かれました。（小堀 真洋）

◆ ◆
大麻奉斎街頭活動
 ◆ ◆



十一月十六日、日光二荒山神社と宇都宮二荒山神社の社頭に於いて、「一千万家庭神宮大麻奉斎活動」の一環として、式年遷宮並びに神宮大麻奉斎に伴う街頭啓発活動を実施しました。

この度の街頭活動は、当会の遷宮特別委員会と神宮大麻頒布推進委員会が中心となり行われ、当日は、参加した会員二十名が、参拝者や観光客一人一人に、教化宣伝資料が付いたポケットティッシュや、神宮式年遷宮や神宮大麻の説明書を配布しました。

この活動を機に、一人でも多くの方々に神宮や神宮大麻について関心を持っていただければと思います。(山本 喜道)

御田植祭・抜穂祭



今年度も恒例行事、御田植祭（五月二十一日）抜穂祭（九月二十九日）を本会会員滝口氏の実家（那須烏山市）の御神田をお借りし、荒井会長を始め、其々、会員十数名参列のもと神事が斎行されました。

両日とも天候に恵まれ、御田植祭、斎主伊藤副会長、又、抜穂祭、斎主田中副会長が務められ、厳粛な雰囲気の中に、無事執り行われました。

又、実際に会員達が滝口氏の父親による稲作に関する指導を賜り、手作業にて精を込め、御米「イセヒカリ」の苗を御神田に植し、刈り納め致しました。

食物は、人々の生命を形成、維持していくゆく為には欠かす事の出来ない非常に貴重なものであります。更に自然は食物を生成し、育み上げる大きな力を備えております。

それらの事は自然と食物により、私達は生かされているという事を教えてくれます。こういった基の感覚を現代人は忘れつつあるものかと思えます。

とは言え、私自身もその中の一人ですし、この行事を通じ言葉では理解し難い自然に対する恩恵の念を抱き、食物に感謝するといったことを再確認させられた次第であります。

是非、今後ともこれらの行事がより多くの方々に御参加頂かれ、より長きに渡り、継続されていかれますよう務めていきたいと思えます。（下妻 大介）

祭式研修会



無くて七癖ということわざがあるが、時々修正をしないと、これらの癖はなかなか直らないものである。癖というのはそのくらい厄介なものだが、今回の研修では、日頃自分自身ではなかなか気付かなかった悪い『作法の癖』を先生方に随分直していただいた。良かれと思っていた作法が、いつの間にか自己流になっていたことに気付き、自分でも驚き、反省させられた。

今回の、このような研修会に参加することにより、何度も何度も修正されることにより、注意されて本物の作法が生まれてくるのだろうと思っている。そういった意味ではこの研修会に参加できたことは大変有意義だったと心から感謝している。それと同時に清々しい気持ちで神

様にご奉仕するには、心のこもった正しい作法が『必要不可欠』であるということをお今回の研修で再確認しました。（福田 直之）

神宮神道青年会合同研修会

平成二十年九月、二日間に亘り当会は神宮研修として伊勢を訪れました。その際、来年は栃木に伺いますとの約束を受け平成二十一年九月九日、十日、神宮神道青年会との合同研修が実現いたしました。式年遷宮まで僅か四年となり、既に全国では募財活動をはじめ様々な啓蒙活動、伊勢神宮でもお木曳きなど遷宮諸祭が数々執り行われており、このような神社界にとつて重要な時期に、神宮に奉仕されている青年会の方々と合同研修が行われることは栃木県青年神職むすび会に貴重な時間となりました。

当日は高橋弘幸 神宮宮掌を始め七名の方々が来県し、初日は午後二時に宇都宮駅到着し、宇都宮二荒山神社での正式参拝の後、阿部権宮司様より青年会の役目や、式年遷宮に向けた神宮の成すべき事等、講話をいただきました。講話終了後は神宮青年会と荒井会長以下当会々員との意見交換も行い実り多き研修となり、懇親会に於いても有意義な時間を過ごすことができました。二日目は神宮神道青年会の希望により日光へと移動し、神橋を渡り、日光二荒山神社正式参拝を行い中麿権宮司様よりご挨拶を頂戴いたしました。その後、当会会員と共に二社一寺を参拝見学致しました。日光が初めての方も多く、大変熱心に見学されておりました。

今回の合同研修では、遷宮を迎える神宮の声、そして其れを各地で支える多くの神職の思いを知ることができ、平成二十五年の遷宮に向け、気持ちの一つにする事が出来たかと思えます。

(葭田 真彦)



家族親睦会

毎年夏休み、栃木県日光市ナラ入沢での家族親睦会はむすび会の恒例行事です。今年八月十八日に開催されました。今回は二人の息子をつれて参加しました。今年小学生になった長男と始めて参加したのは四年前。ナラ入沢の清流に足を入れて、あまりの冷たさに泣き出していたことを懐かしく思い出しながら、会場のナラ入沢キャンプ場に向かいました。

このキャンプ場には釣り堀があり、奥日光からの清流は夏でもとても冷たく、居るだけで爽やかな気分させてくれます。恒例の鱒の手捕りで長男は転んで水浸しになりましたが平気でしたし、スイカ割りでも力一杯西瓜を叩き割り、成長のあとを伺えました。三才の弟も会員のお子さんに面倒

を見てもらいながら楽しく過ごしていました。玩具の水鉄砲の取り合いになり喧嘩もしていました。これも一興。会員同士、また、子供同士が交流し夏休みの良い思い出が出来ました。今年には妻が来られなかったが、来年の楽しみにしたいと思います。

(小堀 真洋)



野球大会中止時研修旅行

平成二十一年十月二日に予定されていた一都七県神職野球大会が去年と同様に雨天の為、中止となつてしまいました。今年こそは新しいユニフォームを大会にてお披露目をと練習に励んできた事もあり残念でした。今回も予定を変更し研修旅行を行いました。

去年は群馬県の神社参拝をしましたので今回は茨城県の神社に参拝したいとの希望もあり大洗磯前神社に参拝させて頂きました。



大洗町の海岸沿いを進むと大きな鳥居があり高台の御社殿前からは太平洋を望むことができます。御創建は斎衡三年（八五六）で延喜の制で明神大社、明治の頃に国幣中社に列せられる古社です。御祭神に大己貴命、少彦名命が御鎮座されとりのひたちなか市鎮座の酒列磯前神社とともに二社で一つの信仰が形成され漁業の神、医療の神として御崇敬されています。また御社殿は水戸藩二代藩主水戸光圀公により享保十五年（一七三〇）に造営され彫刻とともに江戸初期の建築様式を今に伝えており茨城県の文化財に指定されています。神社の歴史また御社殿の荘厳さに感銘をうけながらの参拝でしたが神職として何より思うのは職員の方々の御奉仕する姿が素晴らしかった事でした。白衣・袴姿で境内を掃き清め、また地元の御老人の方々とお話しする様子や参拝客への親切な対応などとても勉強になりました。若手神職があらためて基本を見つめ直す良い機会となり貴重な研修旅行となりました。

（野澤 功嗣）

昇級者・退会者慰労会

平成二十二年三月九日栃木県宇都宮市のホテル東日本宇都宮にて、むすび会主催の「平成二十一年度神職身分昇級者祝賀会・退会者慰労会」を開催いたしました。昇級者・退会者は左記のとおりです。

特級	一級	二級上	二級	退会
二荒山神社	須賀神社	瀧尾神社	八幡宮	栃木県護国神社
宮司	宮司	宮司	宮司	権禰宜
助川 通業様	沼部 春友様	和田 義様	八幡宮	権禰宜
		若松 延雄様	祖母井神社	山本 喜道様
		影山 寛様	三島神社	
		多田 民男様	二荒山神社	
		沼部 正昭様	二荒山神社	
		齋藤 芳史様	八坂神社	
		齋藤 隆夫様	二荒山神社	
		北村 耕成様	二荒山神社	
		相馬 秀和様	二荒山神社	
		山杉 勝敏様	二荒山神社	
		田原 經三様	二荒山神社	
		管 浩二様	二荒山神社	
		山本 喜道様	二荒山神社	



今年度は助川宮司様、多田宮司様、田原権禰宜様、山本会員のご参加を頂きました。懇親会では先輩方の長年の貴重なご経験を拝聴し、また退会者の山本会員とは近年の活動や思い出を振り返りました。昇級者・退会者の皆様の益々のご活躍とご健勝を御祈念申し上げます。この度の祝賀会が盛会に執り行う事が出来ました事を深く御礼を申し上げます。（多田 隆二）



平成二十一年度 栃木県青年神職むすび会事業報告

(平成二十一年)

- 四月 六日 役員改選につき庁長へ御挨拶 (D)二荒山神社
- 四月 六日 第一回一都七県定例会議 東京都神社庁
- 四月二十三日 神青協六十周年記念大会 グランドプリンス赤坂 本社本庁
- 四月二十四日 神青協第六十一回定例会議 護国神社
- 四月二十八日 県内神社例祭 会員奉仕 鹿島神社
- 四月三十日 決算監査会・事務引継 本社庁
- 五月十一日 第一回役員・幹事・委員長会議 本社庁
- 五月十一日 定例会議 本社庁
- 五月二十一日 御田植祭 那須烏山市
- 五月二十八日 群馬県神職青年会十五周年記念大会 高崎市
- 六月三〇日 神青協一都七県協議会定例会議 つくば市
- 六月 中旬 第二回役員・幹事・正副委員長会議 本社庁
- 六月十九日 那須御用邸除草奉仕 那須御用邸
- 六月二十二日 氏青・むすび会合同ゴルフ大会 日光市
- 七月 九日 茨城県神道青年会六十周年記念祝練成研修会 茨城県大洗
- 八月 十日 第二回一都七県定例会議 国民精神研修財団
- 八月 十八日 会員家族親睦会 上三依
- 八月二十七日 神青協夏期セミナー 本社本庁
- 九月 四日 第三回役員・幹事・正副委員長会議 本社庁
- 九月 七日 野球練習 駒生球場
- 九月九日 伊勢神宮神道青年会合同研修会 (宇)二荒山神社 (D)二荒山神社他
- 九月 十四日 野球練習 駒生球場
- 九月 十八日 祭式研修会 本社庁
- 九月二十九日 抜穂祭 那須烏山市
- 十月 二日 第十三回一都七県神職野球大会 (雨天中止) 神宮外苑

- 十月 二日 野球大会中止時研修旅行 大洗磯前神社
- 十月六日 七日 神青協秋期セミナー 本社本庁
- 十月 九日 第一回五十周年準備委員会 (宇)二荒山神社
- 十月 十九日 茨城県神道青年会六十周年記念大会 水戸市
- 十月二十七日 東京都神道青年会六十周年記念大会 渋谷区
- 十月三十日 第三回一都七県定例会議 本社本庁
- 十一月 五日 第四回 役員・幹事・正副委員長会議 本社庁
- 十一月十二日 天皇陛下御即位二十年記念式典 皇居前
- 十一月十六日 忘年会 鬼怒川温泉
- 十一月十六日 神宮式年遷宮PR並びに大麻頒布PR 宇都宮市、日光市
- 十一月二十六日 神宮大麻頒布勉強会 埼玉県神社庁
- 十二月二十六日 神青協遷宮啓発委員研修会 神宮、鳥羽
- 十二月 七日 第四回一都七県定例会議 本社本庁
- 十二月十三日 天皇陛下御即位二十年記念式典栃木県大会 栃木県文化センター
- (平成二十二年)
- 二月 五日 第五回一都七県定例会議、新年会 靖国神社
- 二月 十一日 建国記念の日記念式典 (宇)二荒山神社
- 二月 十八日 第五回 役員・幹事・正副委員長会議 本社庁
- 二月二十五日 千葉県神道青年会六十周年記念大会 浦安市
- 三月二 三日 神青協神道政治連盟合同研修会 本社本庁・自民党本部
- 三月 九日 親睦ゴルフ大会 日光市
- 三月 九日 昇級者祝賀会退会者慰労会 東日本ホテル
- 三月 十五日 第二回五十周年準備委員会 (宇)二荒山神社
- 三月十六日 十七日 神青協中央研修会 宮城県仙台市
- 三月十七日 十八日 一都七県協議会研修会 宮城県内

平成二十一年度 役員・幹事氏名

〔役員〕

会長	荒井 和宏	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副会長	伊藤 史展	塩竈神社	禰宜
事務局長	田中 教文	瀧尾神社	宮司
庶務	滝口 貴史	八坂神社	権禰宜
会計	町井 康祐	日光二荒山神社	権禰宜
監事	柳田 耕史	大前神社	禰宜
監事	野崎 正之	宇都宮二荒山神社	禰宜
監事	阿久津喜大	三祖神社	禰宜
監事	沼部 博成	須賀神社	権禰宜
議長	福田 財大	今宮神社	権禰宜

〔幹事〕

宇河支部	上野 敬則	白鷺神社	禰宜
宇都宮二荒山神社	金子 宗人	大前神社	権禰宜
芳賀支部	野澤 功嗣	津島神社	禰宜
塩谷支部	岩松 史恵	乃木神社	禰宜
南・北那須支部	津田 宏	岩崎神社	禰宜
上都賀支部	田邊 雅祥		禰宜
日光二荒山神社	佐藤 洋誠		禰宜
古峯神社	奥村 彩子		禰宜
下都賀支部	新井 隆宏	磐根神社	禰宜
安佐・足利支部	寺内 誉迪	唐沢山神社	権禰宜

各種委員会氏名

〔広報委員会〕

委員長	福田 光弘	高麗神社	禰宜
副委員長	神山 拓之	神明宮	宮司
副委員長	岩松 史恵	津島神社	禰宜

〔研修委員会〕

委員長	金子 宗人	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副委員長	横瀬 勝宣	賀蘇山神社	禰宜
副委員長	福田 有宏	日光二荒山神社	権禰宜

〔創立五十周年準備委員会〕

委員長	田中 教文	瀧尾神社	宮司
総務	滝口 貴史	八坂神社	権禰宜
会計	柳田 耕史	大前神社	禰宜
監事	横瀬 勝宣	賀蘇山神社	禰宜
監事	沼部 博成	須賀神社	権禰宜
監事	福田 財大	今宮神社	権禰宜

〔事業委員会〕

委員長	刀川 治久	磐裂根裂神社	禰宜
副委員長	櫻木 琢也	諏訪神社	宮司
副委員長	板垣 喜充	春日神社	禰宜

〔親睦委員会〕

委員長	大阿久岩貴	春日神社	宮司
副委員長	新井 隆宏	磐根神社	禰宜
副委員長	多田 隆一	日光二荒山神社	権禰宜

〔遷宮特別委員会〕

委員長	葭田 真彦	八坂神社	禰宜
副委員長	加古 英之	護国神社	権禰宜
副委員長	稲葉 成孝	日光二荒山神社	権禰宜

〔神宮大麻頒布推進特別委員会〕

委員長	小堀 真洋	八雲神社	宮司
副委員長	野澤 功嗣	大前神社	権禰宜
副委員長	下妻 大介	今宮神社	権禰宜

新入会員紹介



小堀 照美
こぼり てるみ

住所：芳賀郡茂木町茂木一六〇九

生年月日：昭和46年9月14日

奉務先：八雲神社

趣味・特技：読書・トレッキング

座右の銘：大切なものは目に見えない

好きな異性のタイプ：優しく誠実な人

これからの抱負など：前宮司である父亡きあと、八雲神社に神主としてご奉仕させていただいております。日々の仕事を通して父のことをより理解できるようになった気がしています。神様と家族、氏子の方々に感謝しながら過ごしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



大垣 文彦
おおがき ふみひこ

住所：宇都宮市清原台三二一〇四

生年月日：昭和50年4月5日

奉務先：日吉神社

趣味・特技：スポーツ観戦

座右の銘：我以外皆師也
好きな異性のタイプ：気が合う人

これからの抱負など：本年度より「むすび会」に入会させて頂きました大柿です。諸先輩方には、多々ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。



坂本 龍彦
さかもと たつひこ

住所：栃木市片柳町二二二一六

生年月日：昭和59年5月9日

奉務先：太平山神社

趣味・特技：サッカー・フットサル

座右の銘：一期一会
好きな異性のタイプ：やさしい女性

これからの抱負など：今度、むすび会に入会させて頂きました。まだまだ神職の経験も少ないので、先輩方のご指導をいただき、より良い神職になっていけたらと思っております。よろしくお願いたします。



根本 直樹
ねもと なおき

住所：真岡市東郷一四八九 水沼ハイツ21H

生年月日：昭和57年12月13日

奉務先：大前神社

趣味・特技：合気道・居合道・剣道・スノーボード・旅行・ドライブ

座右の銘：錦上添花
好きな異性のタイプ：直観

これからの抱負など：これからこの抱負など：本年度よりむすび会に入会させて頂きました。これからの神社について様々な面から考えつつ、神界の発展の為に努力していく所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。



奥村 彩子
おくむら あやこ

住所：鹿沼市上殿町三二七151103

生年月日：昭和58年8月24日

奉務先：古峯神社

趣味・特技：料理・書道

座右の銘：継続は力なり
好きな異性のタイプ：思いやりがあり、頼りになる人

これからの抱負など：奉職して今年で四年目となりますが、未熟な点も多く、栃木のこと、もまだまだ分からないこと、不慣れなことがたくさんあります。皆様にはご迷惑をおかけするかと思いますが、この道を目指した当初の気持ちを忘れずに頑張つて参りますので、ご指導いただきますよう宜しくお願い致します。



黒本 裕子
くろもと ゆうこ

住所：鹿沼市草久三〇二七
生年月日：昭和61年12月25日

奉務先：古峯神社

趣味・特技：読書

座右の銘：初心忘るべからず
好きな異性のタイプ：特になし

これからの抱負など：本年度より、むすび会に入会させて頂きました。諸先輩方には、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導のほど宜しくお願い致します。



◆退会者紹介◆

管 浩二

奉務先：栃木県護国神社

生年月日：昭和44年7月15日生

コメント：限られた機会ながら、皆様と共に活動させて頂いた経験は、亡き宮司のご鞭撻と共に、私の大きな糧となりました。今後も宜しくお願い致します。

山本 喜道

奉務先：日光二荒山神社 権禰宜

生年月日：昭和57年9月13日

コメント：5年間という短い間でしたが大変お世話になりました。実家の神奈川に戻って、また頑張ります。



祝ご結婚

坂本 龍彦

奉務先：太平山神社

挙式日：平成21年6月14日

式場：東京ドームホテル

新婦氏名：久代(ひさよ)旧姓・石井
本人のコメント：今まで私を育ててくれた両親、支えてくれた友人、職場の皆様のおかげで無事結婚する事ができました。皆様の為にも幸せな家庭を築いていきたいです。

奥さんより一言：私を育て支えて下さった皆さんのおかげで結婚する事ができました。これからは二人で力を合わせて、笑いのたえない幸せな家庭にしていきたいです。



祝ご誕生

沼部 泰幸

第一子氏名：沼部 公美(ともみ)

生年月日：平成21年7月28日

親からの希望：明るく、正しく、直き心をもって、元気に成長してほしいです。

横瀬 勝宣

第一子氏名：横瀬 眞子(なおこ)

生年月日：平成21年9月21日

親からの希望：明るく、素直で、そして健康に育ってほしいと思います。

稲葉 成孝

第一子氏名：稲葉 優月(ゆづき)

生年月日：平成22年1月6日

親からの希望：健康で優しい心を持ち、思いやりのある人に育ってほしいと願います。



広告協賛者一覧

●ご協賛ありがとうございました●

全国各神社 御用達
栃木県神社庁

各神社のお礼お守のお手伝いをして100年

神符・神札 金守 守護矢 ステッカー 御守・木札
奉書・半紙 交通安全札 色紙・大麻

和紙製造印刷加工

有限会社 **丸井紙店**

〒409-3600 山梨県市川三郷町市川大門763 TEL 0552-72-0136
FAX 0552-72-3966
・振替甲府6-2275 ・取引銀行 山梨中央銀行 市川支店
みずほ銀行 甲府支店



- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
 - 開運招福鈴
 - 文鎮 金盃
 - 各種記念品類
 - 胸像・レリーフ・鑄造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-12-1
TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp

各授与品、記念品奉製

金襴綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 **三愛工芸**

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844

全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する

今村紙業株式会社

代表取締役 今村 力男

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
TEL 055 (272) 0514 (代)
FAX 055 (272) 8818

授与品奉製



株式会社

神路社

本社 三重県伊勢市若洲2丁目5番29号(私書函箱26号)
〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110
IP電話 050-3536-5273
URL http://www.kamijisya.co.jp
E-mail info@kamijisya.co.jp

神元 東京都渋谷区恵比寿1-11-1 エビス小林ビル21号
(※日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721
〒150-0013 IP電話 050-3539-3432
E-mail shinen_club@kamijisya.co.jp



繊細なディテールも綺麗に鮮明に。

BEAMS ビームス700 プレミアム <http://www.bannet.com/>
700 Premium

伴印刷株式会社
〒320-0024 宇都宮市東町6番10号
TEL028-622-8901 FAX028-622-4525

御社頭授与品奉製

※御希望通りの御調製申し上げます。
御一報次第参上致します。

新日本工芸株式会社

〒311-4153
茨城県水戸市河和田町3891
電話 (029) 251-0997(代)
FAX (029) 252-8287

神祭具・御装束・雅楽器類
結婚式場調度

(株)高善装束店

代表取締役 桑 真一

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9
TEL 03(5815) 8771
FAX 03(5815) 8772



伊勢名物 岩戸餅

お食事・休憩・おみやげ……。

伊勢神宮に一番近い店
伊勢内宮前

岩戸屋

〒516-0025 伊勢市内宮前 ☎ (0596) 23-3188 FAX (0596) 28-1322
http://www.iwatoya.co.jp
E-mail: iwatoya@iwatoya.co.jp

営業品目

縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金襴綿守・各種熊手、守護矢・朱印帳

おまもりの奉製

株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010 (代表)
FAX (0282) 62-2061



民俗工芸の
御装束

神祭具の専門匠

株式会社 民俗工芸

〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1 土曜日も営業致しております
URL ▶ http://www.minzoku.co.jp 179-3外からの御注文も承ります

TEL 0120-534-550
FAX 0120-872-550



麻・鈴緒・合織α縄(注連縄)製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top

社寺建築請負い

株式会社 石川工務店

代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地
TEL 0288-53-0408

とちぎ蔵の湯



柏倉温泉

太子館

〒328-0066 栃木県栃木市柏倉町967
TEL (0282) 23-5035(代) FAX (0282) 23-5082
http://www.taishikan.jp ☎ 0120-235035



祈りをかたちに

神社授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川 和夫

本社 〒114-0004 東京都北区尾崎3-20-13 TEL 03-3912-6161(代表) FAX 03-3912-3131
 草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1
 TEL 0489-21-1221(代) FAX 0489-21-1515



内宮に一番近い宿・どなたでもご利用いただけます

早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館

(財)伊勢神宮崇敬会

—ご宿泊に関するお問い合わせは—


〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
 TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

ようこそお伊勢さんへ

勢乃國屋では、豊富なおみやげ品、伊勢の郷土料理を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

～ 伊勢路の土産と御食事処 ～



伊勢内宮前
勢乃國屋

〒516-0024 伊勢市宇治今在家町117
 TEL 0596-23-5555
 FAX 0596-23-1928
 URL <http://www.senokuniya.co.jp>

社頭授与品専門奉製所

(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

常陸神宝(株)

〒310-0067 水戸市根本1丁目53-4
 ☎ (水戸) 029 (227) 0511 (代)
 FAX (水戸) 029 (227) 0512

県内各神社様、工事拜命先(順不同)

日光東照宮	矢板木幡神社
日光二荒山神社	小川温泉神社
宇都宮二荒山神社	足利権崎八幡宮
真岡大前神社	佐野人丸神社
大田原那須神社	下野一社八幡宮
西那須野乃木神社	祖母井神社
氏家今宮神社	足利八雲神社
足利星宮神社	一瓶塚稻荷神社

株式会社 **小西美術工芸社**

〒321-1421 栃木県日光市所野2829-1
 〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3階
 TEL 日光(0288)54-1198(代) TEL 東京(03)5765-1481(代)

政府登録ホテル

栃木グランドホテル

○屋上ビアガーデン ○スナック プチモンド
 ○居酒屋 四季 ○レストラン カーディナル

〒328-0015
 栃木市万町6-11
 TEL. 0282-22-1236(大代表)
 TEL. 0282-22-5200
<http://www.5.ocn.ne.jp/~tgh/>

高精細印刷
 700線カラー印刷をお試し下さい

BEAMS ビームス700プレミアム
700 Premium

再現不可能な微細で高画質を再現印刷

ビームスとは…伴印刷が提唱する品質と環境保護を考えた次世代の印刷システムです。

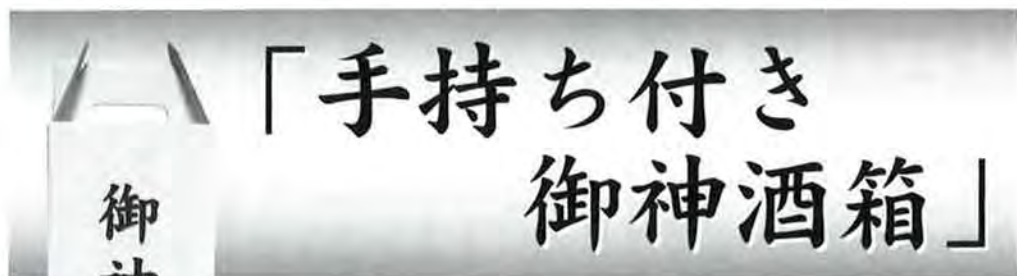


伴印刷株式会社
 〒322-8801 宇都宮市栗野6-10
 TEL 028-622-8801 FAX 028-622-4525
 URL: WWW.bannet.com

大当たりのお手伝い



株式会社 下野広告社
 〒320-0051 宇都宮市上戸祭町555-4
 TEL028-666-8123 FAX028-666-8133



一升瓶が入るサイズ

●箱サイズ：11×11×48cm

年度内価格

3箱 ¥500 のところ → 5箱 ¥600

栃木県青年神職むすび会 頒布品

着帯のお祝い
(安産祈願)

腹帯



〈岩田帯〉

頒布価格(1箱)

¥1,000 (送料別)

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分(約3m)に裁断し高級感ある桐箱に納めました。中の帯は縦に二つ折にし、巻き納めてあります。(解説書在中)



式年遷宮に伴い、大麻頒布運動として

のぼりを頒布しております。

年度内価格

通常価格

¥ 1,500



2枚で **¥ 1,000** (送料別)

■サイズ：177×59cm ※ポールは扱っておりません。

ご注文
問い合わせ

〒321-0207 栃木県下都賀郡壬生町北小林692-2
栃木県青年神職むすび会 事業委員会
 委員長 刀川治久宛
 電話/0282-86-2618・090-6028-2751 FAX/0282-86-5253

